

事務事業評価表

担当課	部	農業委員会	課	係	事務事業No.	16113
事務事業名	農業委員会一般経費			会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項 1 目 1
施策目標	特色ある農業への転換					
後期計画掲載頁	頁	個別計画		頁		
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 農業生産の基盤となる農地の保全活用・効率的な利用を促進し、耕作者の地位向上と農業生産の増大を図る。

事業の目的
 農業委員会の適正な運営を図り、担い手への農地等の利用の集積化と集約化、遊休農地の発生防止及び解消、新規参入の促進など、農地の利用の最適化を積極的に推進していくこと。

事業内容
 月例による農地法第3条、同4条、同5条等の許可申請に対する許可決定、意見決定や、農地利用集積計画に対する意見決定を行う。また管内農地パトロールの実施により、荒廃化を防ぎ農地としての有効な活用を図る。農業者に対しては農業者年金の加入促進や、結婚相談の推進を実施し、農地台帳システムの整備及び農地ナビによる情報公開を積極的にを行い、安心して耕作を行うことのできる環境を整備していく。

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費(決算額)	43,276千円	42,840千円	43,046千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	8,399千円	5,671千円	6,408千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	34,877千円	37,169千円	36,638千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 農業委員会定例会	回	12	12	12	12	100.0%	12
	② 農地パトロール	日	2回	2回	60	60	100.0%	60
③ 結婚相談	回	24	24	24	24	100.0%	24	

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 農業委員会定例会	回	12	12	12	12	100.0%	12
	② 農地パトロール	ha	2,800	2,800	2,822	2,800	100.8%	2,800
③ 結婚成立件数	組			0	1	0%	2	
2. 数値で表せない効果								
(指標①) 適正な審査により、農地転用の抑制、効率的な利用が図られた。 (指標③) 相談者に積極的に婚活イベント参加への推奨及び専門員の質の向上を図り、相談者・相談回数の増が図られた。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 (指標②) 農地パトロール及び農地利用意向調査の実施により、相続未登記の農地が多数あり、相続人及び連絡先の確認に多大の時間を要することとなっているため、「農地利用の最適」に対して支障をきたしている。

評価	項目	必要性	有効性	効率性			
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員の業務の重点が「農地利用の最適化」に置かれたことから、農地に係る法令業務の執行に加えて、農地の利用集約、新規就農者への農地供給という観点から、人・農地プランの見直しと農地中間管理事業の活用を念頭に置いた、農地の有効利用に資する実践活動を推し進める。 また、改正法による農業委員会組織の変更について、現農業委員在任期間中は、従前の例によることとされたが、本年度において、19人以内となる農業委員の定数および農地面積100ヘクタールに1人の割合として算出される人数以内となる農地利用最適化推進委員の定数を定める条例および各委員の選出方法について合意形成を図る必要がある。				
	評価点合計	17	18				